

研究課題名 “ 神経芽腫患者における MIBG シンチグラフィの定量評価に関する研究 ” に関する情報公開

1. 研究の対象

神経芽腫の診断・治療目的に 2010 年 1 月 1 日～2020 年 7 月 31 日に、当院で MIBG シンチ検査を撮像された方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：神経芽腫患者において MIBG シンチ結果を定量的に評価し、神経芽腫のモニタリング指標になりうるかを探索的に検証することを目的とします。

方法：2010 年 1 月 1 日から 2020 年 7 月 31 日までに当院を神経芽腫の診断で受診し、MIBG シンチ検査を撮像された 100 症例を対象とする。治療上必要で撮像されたシンチグラフィ、SPECT/CT 画像を用いて、腫瘍の有無、腫瘍のサイズ、進行度等を機械学習による画像解析にて定量的に評価し、本疾患の予後因子（腫瘍マーカー、病理結果、研究責任者が必要と判断した評価項目等）との相関を分析することで神経芽腫のモニタリング指標になりうるかを探索的に検証します。

研究期間：実施承認日～2025(令和 7)年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、臨床病期等）
- ② 血液・尿所見（CBC、白血球分画、肝腎機能、腫瘍マーカー等）
- ③ 画像所見（MIBG シンチグラフィ、SPECT/CT 等）
- ④ 病理学的所見（組織学的所見等）
- ⑤ 治療（手術術式・抗がん剤治療の治療歴等）
- ⑥ 治療反応性・予後

4. 本研究の研究責任者及び分担研究者は全て名古屋大学小児外科又は希少性・難治性がん解析研究講座の所属であり、株式会社日立製作所は本研究に参加しない。研究責任者及び研究者の一部の所属は株式会社日立製作所の産学連携講座である希少性・難治性がん解析研究講座の所属であるため利益相反状態にあるが、利益相反関係にない複数の研究分担者も含め、そのような状態にあることを適正かつ明確に明示し透明性を保つこと、また、

研究方法、データの解析、結果の解釈などを複数の研究者で公正に行うことにより、当社にとって都合の良い結果へと意図的に導かれることはない。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 希少性・難治性がん解析研究講座

特任教授 檜 顕成

名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL052-744-2959

FAX052-744-2980

Email : hinoki@med.nagoya-u.ac.jp